

最近の雇用失業情勢（令和6年5月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.28倍（季調値）」（前月より0.02ポイント下降）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月より0.02ポイント下降**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が微減しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は製造業等で減。宿泊・飲食サービス業等で増。

[新規求人数]

当月：4,813人 製造業の減員等により－128人
（前年同月 2.6%減）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
 - 【建設業】当月：535人 前年同月：+73人
 - 【宿泊・飲食サービス業】当月：563人 前年同月：+150人
- 「減」（対前年同月比）
 - 【製造業】当月：462人 前年同月：－149人
 - 【サービス業】当月：511人 前年同月：－59人
 - 【卸・小売業】当月：616人 前年同月：－47人
 - 【運輸、郵便業】当月：311人 前年同月：－44人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.04倍 前年同月：－0.12P
 【米子所】当月：1.34倍 前年同月：－0.09P
 【倉吉所】当月：1.15倍 前年同月：－0.40P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.03倍（11か月連続で前年同月を下回る）
 →全国指標0.94倍（8か月連続で前年同月を下回る）

[新規求職者数]

当月：2,117人（前年同月1.4%減）